

代ゼミ夏期戦後史



ヨルダン川西岸地区の分離フェンス

700キロに及ぶ分離フェンスが地域社会や家族を引き裂き、パレスチナの領土を侵害しているとパレスチナ人が主張



代々木ゼミナール世界史講師 佐藤 幸夫

●テキストの構成と活用法

～超頻出☆必ず狙われる戦後史（もくじ）～

- I. 『超頻出☆必ず狙われる戦後史』のノウハウ ……P. 5
- II. 7つのメインシナリオ（戦後テーマ：第1～7章） ……P. 9
- III. 最新の戦後史入試問題演習【講義の復習】 ……P. 61
- IV. ザ☆戦後史年表（1945～2025） ……P. 85
〈ゆきお先生が選ぶ入試頻出の時事問題！ P.94～96〉
- V. ザ☆国名&首都名コモンセンス ……P. 97
- VI. ザ☆人物Best70（戦後史の主人公たち） ……P.107
- VII. 地図で分かる現代民族紛争 ……P.127

【テキストの活用法】

- ① 〔I〕を熟読して、学習計画を立てましょう。
- ② 授業の予習は〔II〕のメインシナリオの熟読です。その章の講義概要が書かれていますが、できる限り、理解を深めるために、参考図書として紹介する『つながる世界史 現代史の集中講義』（学研編：佐藤著書）を熟読してくることをお勧めします。この本を傍らに置いて、講義を受けると、より一層点数に結びついていきます。
- ③ 講義が終了し、ノート整理も終わり、一問一答もコンスタントにこなすことができれば、〔III〕の入試問題に挑戦してみましょう。8月末～9月初旬にかけて、復習テストのつもりで実施すると効果的です。
- ④ 〔IV〕～〔VI〕は自主学習用です。講義を受ける前に触れておくと、講義は理解しやすくなります。2学期以降もコツコツと学習し続けて下さい。
- ⑤ 夏の戦後史学習が終了し、まだ余裕がある人や世界史で稼がねばいけない人は、冬期講習の難関校戦後史を勧めています。その導入となるのが〔VII〕です。2学期中の余裕がある時に暗記すると良いでしょう。

※テキスト内容説明・戦後史学習プランについては、〔I〕に掲載してありますので、必ず熟読してから、講義に参加するようにして下さい。

◆ II の目次 ◆

〔序 章〕 繰り返された2度の世界大戦 ……P.10

（第1講）

〔第一章〕 第3次世界大戦に世界は怯える“冷戦の進展” ……P.14

〔第二章〕 世紀末は社会主義体制崩壊から“冷戦の終結” ……P.18

〔第三章〕 ヨーロッパが1つになる道のり“欧州統合史” ……P.24

（第2講）

〔第四章〕 民族分断の悲劇はいつまで続く“朝鮮半島史” ……P.30

〔第五章〕 超大国アメリカの大汚点“ベトナム戦争史” ……P.36

（第3講）

〔第六章〕 揺れ動く中台関係は暗闇のまま“中国現代史” ……P.42

（第4講）

〔第七章〕 難民苦しむ“中東問題”とイスラーム世界の動向 ……P.50

※Ⅶの「地図で分かる現代民族紛争」と「地域別のポイント解説」をチェック

第1日目

冷戦の大きな流れ



ノルマンディー上陸作戦

プライベート・ライアン

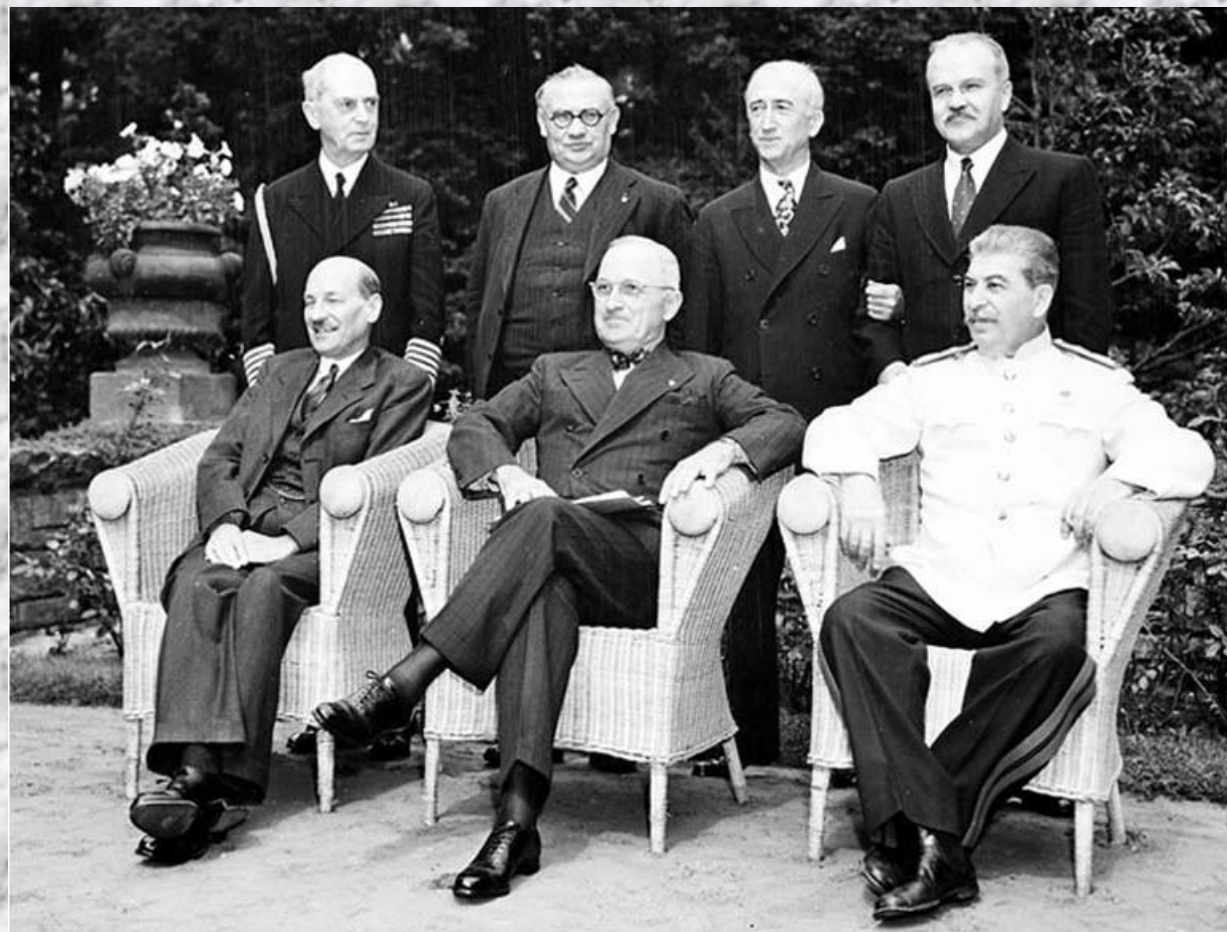
オマハ・ビーチ





ヤルタ会談
(1945年2月)

ポツダム会談
(1945年6月)





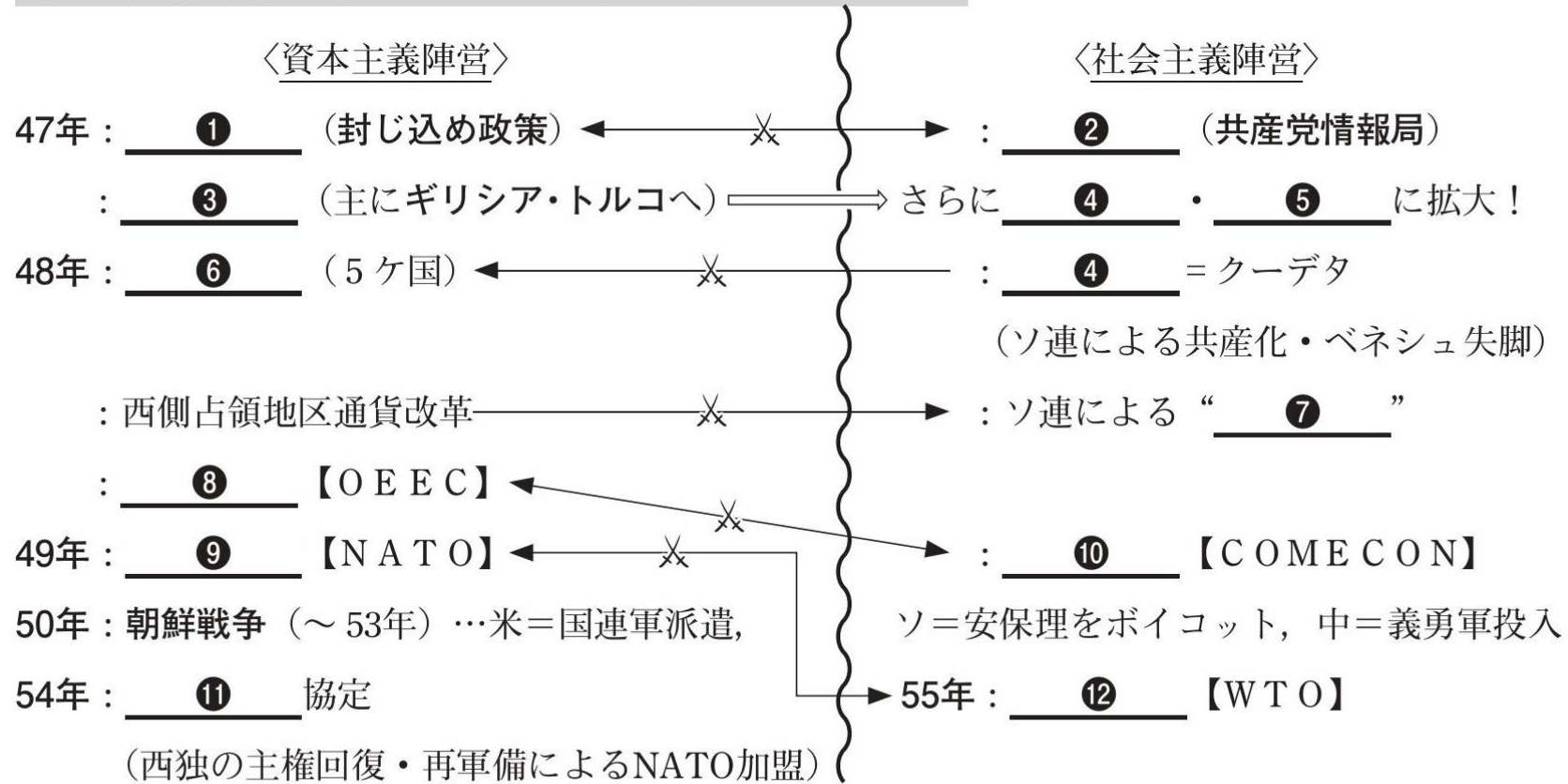
フルトン演説

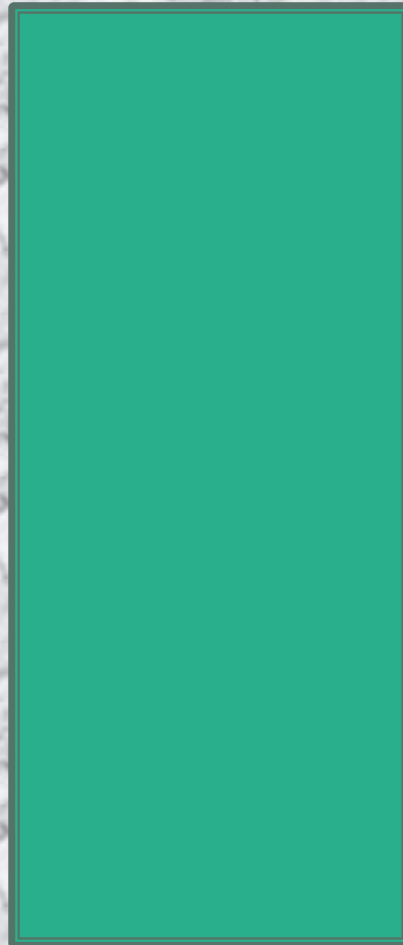
1946年 (鉄のカーテン)



(1) 冷戦の仕組みと動向

① 冷戦構図…by チャーチル (英) "鉄のカーテン"



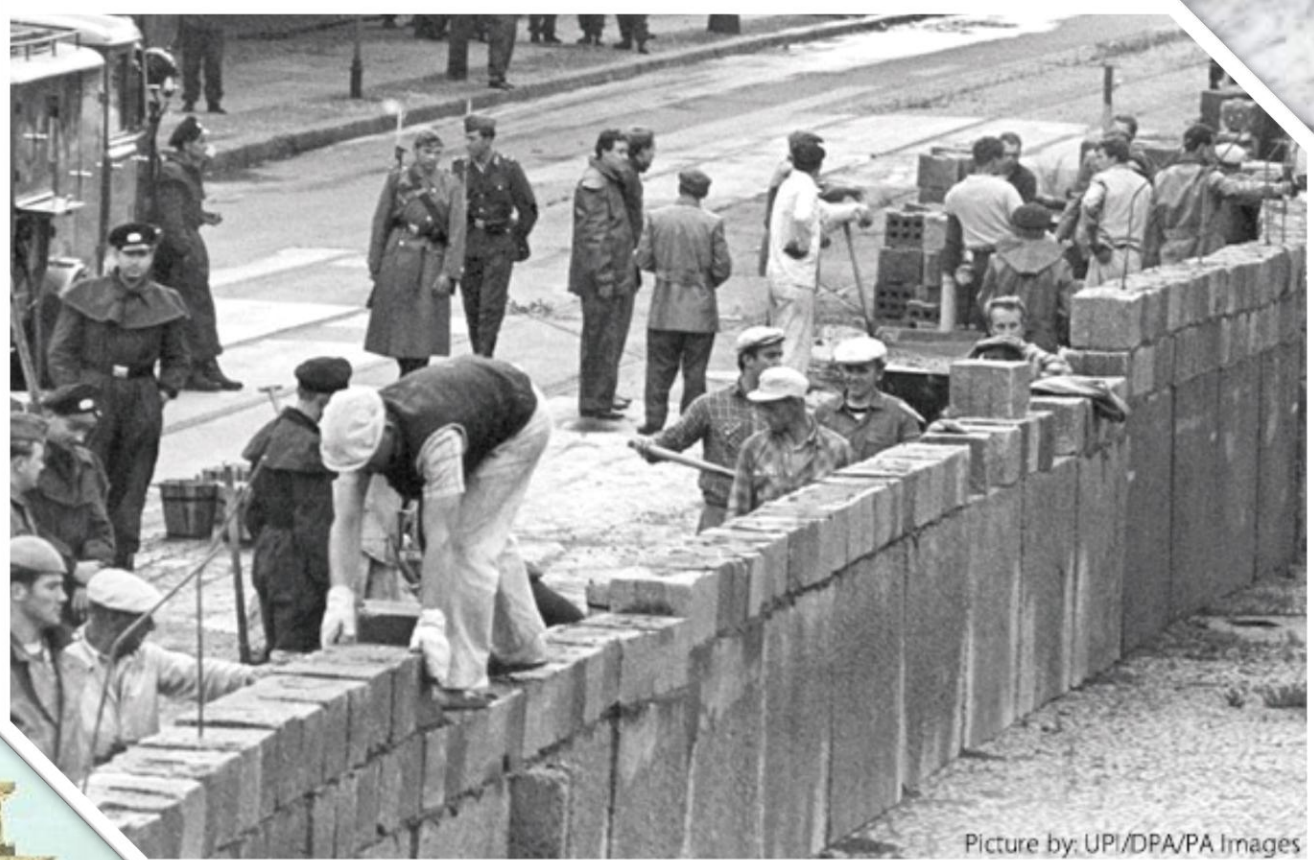


ベルリン封鎖

(1948~49年)

ベルリンの壁

(1961~89年)



Picture by UPI/DPA/PA Images



ベルリンの壁アートギャラリー



⑧ 雪どけ…by エレンブルグ(ソ連)『雪どけ』より

53年：朝鮮戦争休戦，⑬の死 ⇨ ⑭書記長就任！

54年：インドシナ戦争の休戦（ジュネーヴ休戦協定）……北緯17度線

55年：オーストリア国家条約調印

ジュネーヴ四巨頭会談（平和共存）……米英仏ソ

56年：⑬批判〈by ⑭，at 共産党第20回大会〉

⇨ 反ソ暴動〔⑮・⑯〕，中ソ論争の始まり

57年：ソ連が人工衛星（スプートニク1号）の打ち上げに成功

59年：⑭訪米（~~ソ~~米：アイゼンハワー）

⑨ 再 燃

60年：U2型機撃墜事件（四ヶ国パリ首脳会談は流産）

61年：ウィーン会談〈米：⑰，ソ：⑭〉⇨ ⑱構築

62年：キューバ危機（⇨ 社会主義化宣言をしたキューバにソ連のミサイル基地を！）

63年：⑲（米英ソ）⇨ 直通通信（ホットライン）協定の成立

THIRTEEN DAYS

13デイズ

キューバ危機

(1962年10月15~28日)





海上封鎖
× 核ミサイル基地

(2) 冷戦の終結と社会主義の崩壊

① 多極化とは何か？

① 社会主義陣営内のソ連離れ（⇐ 56年：スターリン批判）

56年：反ソ暴動（ポーランド：①・ハンガリー：②）

60年代：ルーマニア〈③〉・アルバニア・〈ホジャ〉らによる独自路線

68年：④（チェコの自由化運動）

by ドプチェク……× W T O 5 カ国軍により鎮圧される（制限主権論）

69年：⑤ 紛争（in 珍宝島＝ダマンスキー島）

② フランス第5共和政〈⑥〉の独自路線 × アメリカ陣営

60年：核保有 64年：⑦ を承認 66年：⑧ からの脱退

③ 第三世界（非同盟主義）の台頭

54年：⑨ 会談……『平和五原則』の提唱

55年：第1回アジア・アフリカ会議（in ⑩, 『平和十原則』by スカルノ）

61年：第1回非同盟諸国首脳会議（in ⑪ by ティトー）

ソ

米

パキ

中

日

印

台

越

⑧ 1970年代の国際変化

① 米中の接近……大統領補佐官 ⑫ の活躍

71年：中華人民共和国の国連代表権奪取（⇔ 中華民国（台湾）より）

72年： ⑬ 大統領の訪中 〜 毛沢東・周恩来）

79年：米中国交正常化（米： ⑭ 大統領 〜 鄧小平）

② 米ソ再対立…… ⑮ 書記長による ⑯ 侵攻（1979年）

⇒ “核の冬” の危機（× ⑰ 大統領の「スターウォーズ計画」@戦略防衛構想）

© 社会主義崩壊と冷戦終結

85年 : ゴルバチョフ書記長の登場

⇒ ・改 革 (“ 18 ”)

・情報公開 (“ 19 ”)

・新思考外交



88年 : 新ベオグラード宣言 (ソ連の東欧における優越性を否定)

89年 : 東欧革命

⇒ 11月9日 : ベルリンの壁崩壊

12月11日 : 20 会談 (米) 21 + (ソ) ゴルバチョフ

= 冷戦終結を宣言

90年10月3日 : 東西ドイツ統一…… (首相) コール (大統領) ヴァイツゼッカー

91年4月 : コメコン・WTOの解体

8月 : 保守派クーデタ (保守派がゴルバチョフ大統領を軟禁 ⇒ 失敗)

12月 : ソ連邦崩壊 < by ロシア共和国大統領エリツィンら >

⇒ 22 [CIS] 成立 (当初11カ国)

④ 核軍縮の流れ

63年 : 部分的核実験禁止条約 (米英ソが指導) …… 仏・中は調印せず

68年 : 23 (NPT) …… 国連総会にて

72年 : SALT [戦略兵器制限交渉] I 79年 : SALT II の調印

73年 : 核戦争防止協定…… ニクソン ⇄ ブレジネフ

87年 : 24 条約 < ⑥レーガン + ⑦ゴルバチョフ >

91年 : START [戦略兵器削減交渉] I 93年 : START II の調印

96年 : 包括的核実験禁止条約

※核実験

1945年 アメリカ ※54年 : ビキニ環礁での水爆実験 (第五福竜丸事件)

49年 ソ連

52年 イギリス

60年 フランス

64年 中国

74年 インド

98年 パキスタン

2006年 北朝鮮 ※イスラエルの保有可能性あり



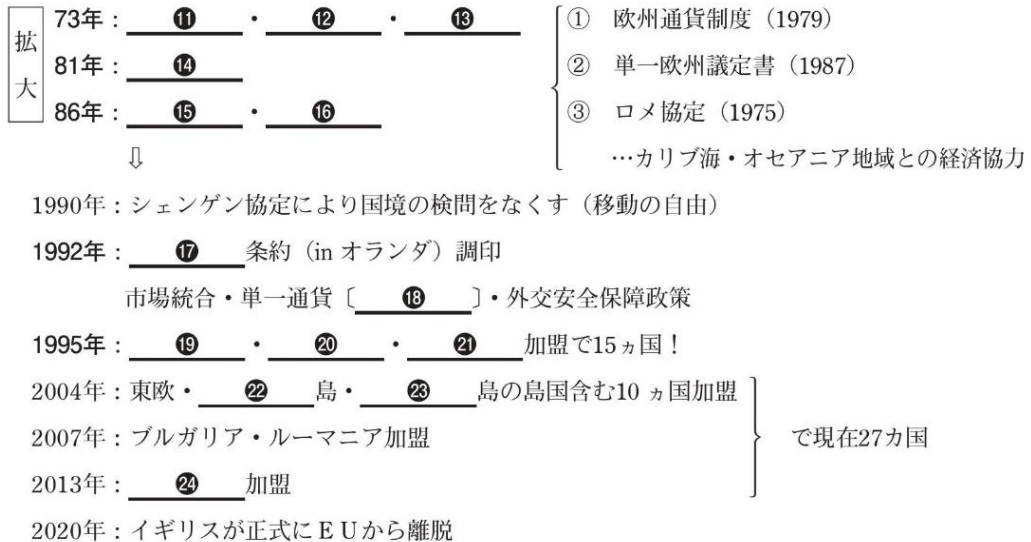
マルタ会談(1989年12月)

⑤ ヨーロッパ統合の動き(1950～1967年)

(軍事) 1948年：西ヨーロッパ連合(ブリュッセル)条約 (経済) 1948年：ベネルクス関税同盟
 49年：北大西洋条約機構(NATO) 48年：ヨーロッパ経済協力機構(OEEC)
 ＊ジャン＝モネ(仏)の提案, 1950年： 10 の発表(石炭・鉄鋼の共同管理)



⑥ 拡大EC～ヨーロッパ連合(EU)へ



※2004年：EU憲法の採択…仏・蘭で拒否
 2009年：リスボン条約の発効…EU大統領の設置
 →EUの深化(政治的統合を進める)

ヨーロッパ統合の流れと“光と陰”

光

①独仏の和解

②障壁の撤廃

③技術 & 防衛

陰

①移民問題

②物価上昇

③ウクライナ問題

④極右台頭

第2日目

2つの分断国家の末路

ゆきおの訪朝 (1999年)



平壤 (ピョンヤン)





JSA(38度線)

訪問者（見学者）宣言書 (UNC REG 551－5)

統合警備地区への訪問者（見学者）は、下記を読み、そして署名することを要求されます。

1. 板門店の統合警備地区の見物は、敵性地域への立ち入りを伴わない。敵の行動（活動）によっては危害をうける又は死亡する可能性があります。統合警備地区は中立地域ですが、一方（南）は、国連軍の軍人により、他方（北）は、北朝鮮の陸軍軍人によって、それぞれ分割警備されています。
国連軍のゲストの皆様は、軍事境界線を越えて北朝鮮軍の管理する統合警備地区へ立ち入ることは許されていません。
また、事変・事件を予期することはできませんので国連軍、アメリカ合衆国及び大韓民国は訪問者の安全を保障することはできませんし、敵の行う行動に対し、責任を負うことはできません。
2. 訪問者は下記事項に従わなければならない。
 - a 国連軍軍人は、勤務時間外の服装として、軍種により規定された適切な軍服を着用する。訪問者は、国連軍の威厳を保持するに適切な私服を着用する。
 - b 統合警備地区へ立ち入る前に、各訪問者（軍人を含む）は、国連軍の正式のゲストであることを証明する薄片のバッジを受け取って下さい。このゲストバッジは、外部から見える衣服の上部左側に付けなければならない。
このゲストバッジは、キャンプ キティー ホークから出発する前に、返納されなければならない。
 - c 北朝鮮軍人及び中華人民共和国義勇軍と、会話することを含んで、親しくすることや、交際することは、固く禁じられている。北朝鮮軍兵士、中華人民共和国義勇軍兵士は、次により識別できる。
 - (1) 軍人・・・・・・・警備兵は、褐色又は、くすんだ茶色の北朝鮮軍服で腕に赤色の腕章を装着、休戦軍事委員は、黄色の腕章を装着している。
 - (2) 報道関係者・・・・緑色の腕章を装着している。
 - (3) 訪問者・・・・・・上部ポケットに緑色の布片を装着している。
 - d 訪問者は、北朝鮮側にとって、国連軍に対する宣伝材料となりうるような見振り、表現等を謹む。
 - e 訪問者は、見学の最初から最後までグループとして行動し、見学案内者の全ての指示に従うように。
いかなる不平・苦情はキャンプ キティー ホークに帰った後にうかがいます。
 - f 火器、ナイフ等いかなる武器も、統合警備地区へ持ち込んではならない。
 - g 共産側支配下の地域及び建物（黄かっ色に塗色）には、いかなる理由があっても立ち入れない。
統合警備地域内の国連軍の建物（青色に塗色）に立ち入るには、事前に見学案内者により許可を得なければならない。
 - h いかなる時でも見学者は、部隊の進路に立ちどまったり遮ぎったりしてはならない。会議室内の施設や装備をみだりに操作しない。統合警備区域内は、写真撮影が許可されているが、C K P # 1（キャンプ キティー ホーク入口）からC K P # 2（統合警備区域入口）の間の途中は禁止されている。
 - i 若し、いかなる出来事が起きても、平静を保ち、警護の者の指示に従わなければならない。

3. 以上の事項に関するいかなる質問も、見学案内に聞きたさなければならない。

DECLARATION（宣言）

私はこれを読み、理解し、そしてこの指導（指示）に従います。

私が未成年の家族を伴っている場合、この見学に際して、わたくしが責任を有する未成年者を伴った場合、私のこのサインは彼等にとって、これらの指導（指示）を承認することを意味する。

SIGNATURE（署名）： _____ DATE（日付）： _____

韓国観客動員新記録を樹立!1,300万人が泣いた、感動巨編!

一緒に帰ろう……

ウォンビン

チャン・ドンゴン

ブラザーフッド

シュリ のカン・ジェギュ監督最新作

[illegible]

第8回「アカデミー賞」
1956年12月25日 授賞式

監督:チャン・フン 映画は映画だ。 西見京 脚本:ハク・サンヨシ 1999年

高地戦

THE FRONT LINE



여덟발의 총성! 진실은 그곳에 있다

미스터리 휴먼 블록버스터 · 2000년 최고의 프로젝트

공동경비구역 JSA

JOINT SECURITY AREA

송강호 이병헌 이영애 김태우 신하균 - 감독 박찬욱 - 제작 명필름

제작 CJ Entertainment - 공동제작 KTB network, 인즈닷컴 intz.com

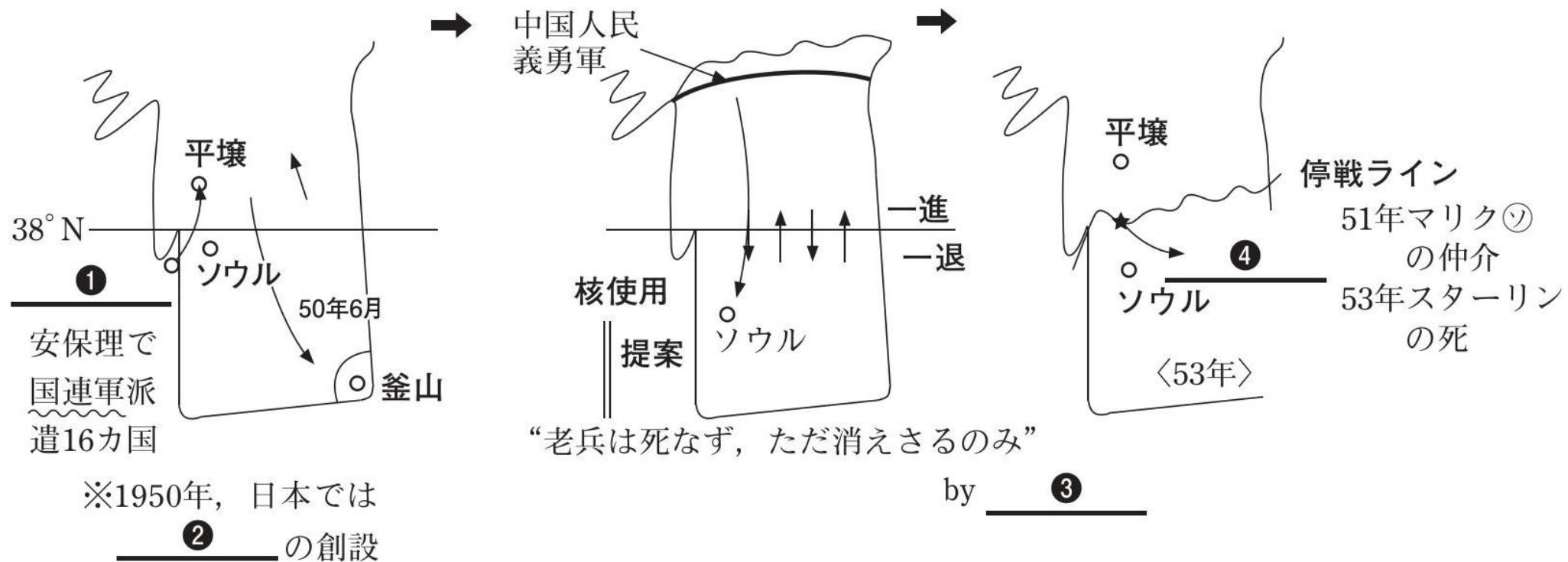
[illegible]

www.myungfilm.co.kr - www.cyberisa.com - chollian: go cyberisa

ENTERTAINMENT

JSA(38度線)

① 朝鮮戦争 (1950 ~ 53) とその経緯



⑤ 両国指導者

〈南〉 1. ^{イ スン マン}李承晩 ⇒ 2. ^{ユン ボ ソン}尹潽善

3. ^{パク チョン ヒ}朴正熙 = 日韓基本条約 (65), ⑤ 拉致 (73)

4. ^{チェギ ユ ハ}崔圭夏 = ⑥ 事件 (80) で失脚

5. ^{チョンドウ ファン}全斗煥 = 鎮圧後に新憲法 (81)・訪日 (84)

6. ^{ノ テ ウ}盧泰愚 = オリンピック (88), 国連同時加盟 (91)

ソ連 (90)・中国 (92) との国交正常化

7. ^{キム ヨン サム}金泳三 = 30年ぶりの文民大統領

8. ⑤ = 太陽政策 (98 ~)

9. 盧武鉉 ⇒ 10. 李明博 ⇒ 11. 朴槿恵 ⇒ 12. 文在寅

13. 尹錫悦 (2022 ~ 25) …親日反北, 非常戒厳の発動により弾劾・罷免

14. 李在明 (2025 ~)

〈北〉 金日成

・千里馬運動

・主体思想

(政治・経済・国防)

↓

94 ~

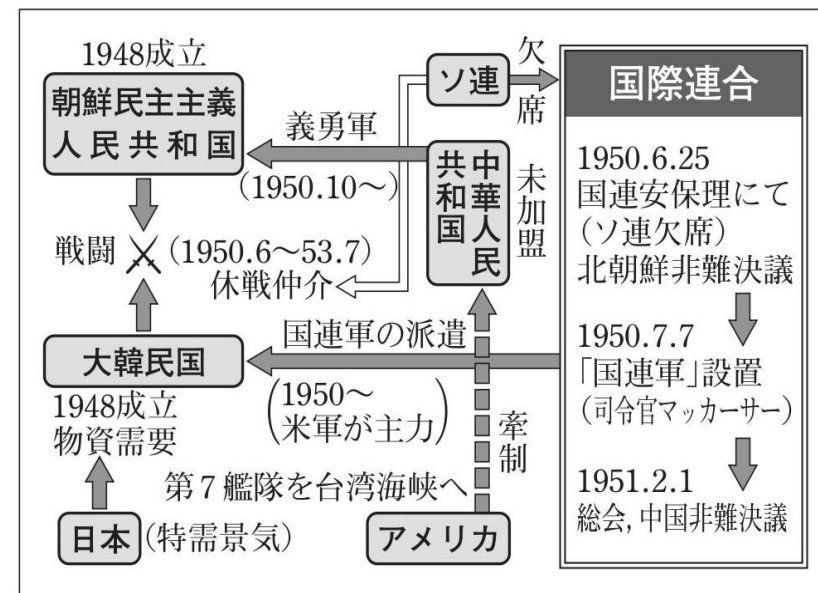
⑦

↓

2011 ~

⑧

《朝鮮戦争の構図》





光州事件
(1980年)

民主化宣言 (1987年)



盧武鉉
元韓国大統領

(5) 2つのインドシナ戦争

45年： ① ⑦ 〈ホー＝チ＝ミン〉 ⇐ ② (ベトナム独立同盟会) 活躍

46年：インドシナ戦争（～54年）

✕ **3** (建) 〈元首: **4**〉 + **5**

54年： ⑥ の戦い（フランス敗北、本国でアルジェリア独立運動へ目が向く）

⇒ ⑦ 休戦協定（17'N，統一選挙）……南政府と米は調印せず

55年： 8 (建) < 9 > + 10

60年：南ベトナム解放民族戦線結成 又南政府・アメリカ

63年：南ベトナム政変〈ズォン＝ヴァン＝ミン将軍〉……内乱

⇒アメリカの軍事的介入〈※ケネディ大統領〉が必要となる！

64年：トンキン湾事件 < ⑪ 米大統領 >

65年：北ベトナム爆撃（ベトナム戦争：～73年）

73年： ⑫ 和平協定（“ベトナム化宣言”）＜ ⑬ 米大統領＞

75年： ⑭ （ベトナム共和国の首都）陥落

76年：ベトナム社会主義共和国成立……南北統一

(大統領) トン=ドクタン (副大) グエン=フー=ト (都) 15

77年：国連加盟

86年： ⑯ （刷新）の開始……資本主義経済の一部導入

95年：A S E A N加盟

※その後 97年にミャンマー・ラオス, 99年にカンボジアがASEAN加盟



ゴ・ディン・ジエム



マダム・ヌー
(ジエムの実弟の妻)





フラワーチルドレン



路上の処刑



ソンミ村虐殺事件

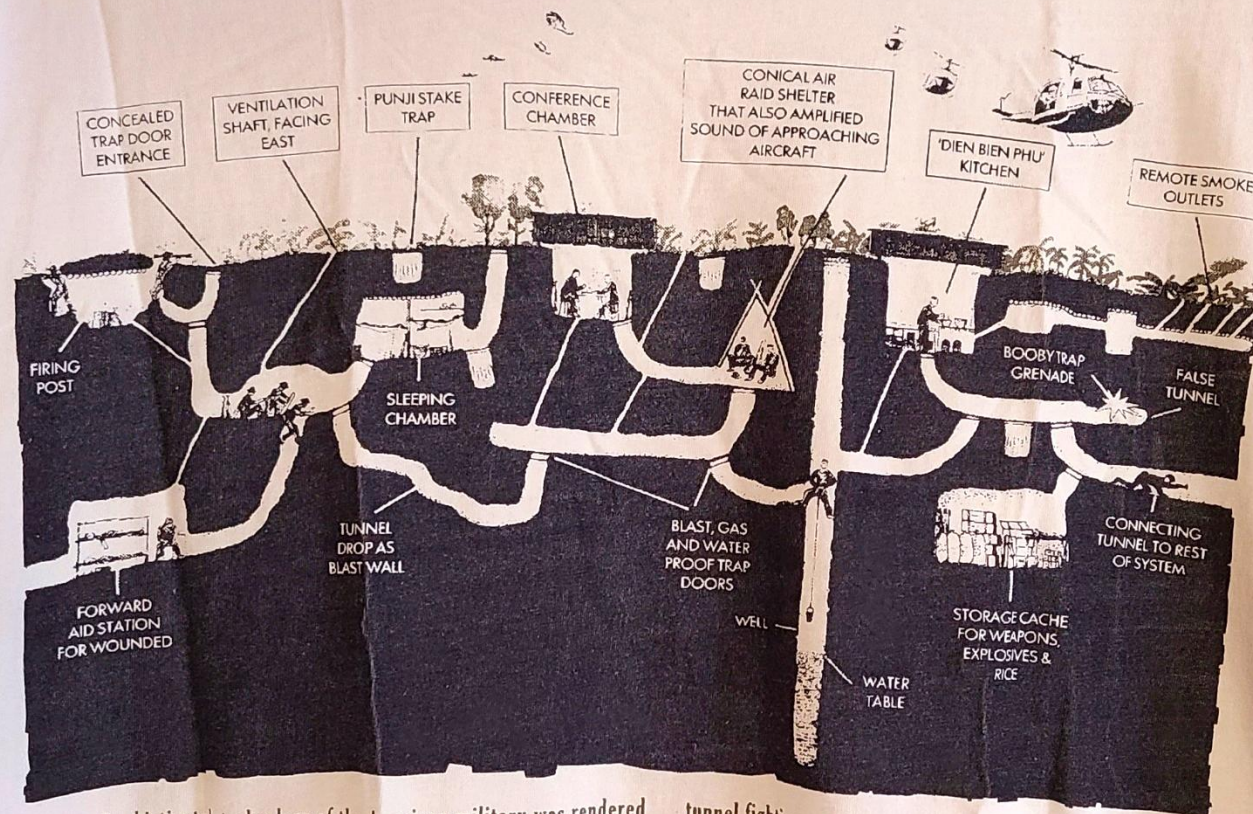


安全への逃避（澤田教一）

なぜ、

アメリカ軍は勝てなかったのか？

クチ・トンネル (@ホーチミン郊外)



All The Sophisticated technology of the American military was rendered useless at Cu Chi, Viet Nam. Indeed, the Viet Cong had a far more effective weapon. A tunnel system 3 storey deep and over 200 km long. Here the fight was forced underground into the dark, complex lair of the enemy. Poorly trained, ill equipped for

THÉ CŪ CHI TŪNNĒLS MŪSĒUM

tunnel fighting and constantly exposed to surprise attack. GI's died in there thousands. Today this once war torn land is a place of peace and serves as a lasting reminder of SUN Tzu's famous anecdote: "Always take your enemy down to fight at your level."

日本でも作っていた…



**枯葉剤の散布
(ダイオキシン)**



カンボジア内戦

～苦難と悲劇とその連鎖～

【ラオス】

1893 年：フランスの保護国となる（99 年仏領インドシナ連邦に編入）

1953 年：ラオス王国として完全独立

63 年：プーマ首相（右派） × ラオス愛国戦線（パテト＝ラオ）の形で内戦勃発（～ 75）

75 年：パテト＝ラオが内戦に勝利し，王政廃止！

76 年：ラオス人民民主共和国 ⑧ビエンチャン

【カンボジア】

1863 年：フランスの保護国となる（⇒ 67 年：仏領インドシナ連邦の 1 つとなる）

1954 年：完全独立達成！（元首）シハヌーク ⑧プノンペン

65 年：対米国交断絶！（アメリカのベトナム介入に対して）⇒ 69 年：国交再開！

70 年：国防相ロン＝ノル政権樹立（軍事クーデタ）・・・王政廃止，親米的

75 年：ポル＝ポト政権樹立（民主カンプチア成立）・・・中国支援

79 年：ヘン＝サムリン政権成立（救国民族統一戦線）・・・ベトナム支援

× 抗越三派 [シハヌーク・ポル＝ポト・ソン＝サン派]

91 年：パリ和平協定調印

93 年：UNTAC（国連カンボジア暫定行政機構）の活動

93 年：シハヌーク，国王復帰！総選挙実施（第 1 首相ラナリット＋第 2 首相フン＝セン）

97 年：フン＝セン第 2 首相が，ラナリット第 1 首相を武力追放！

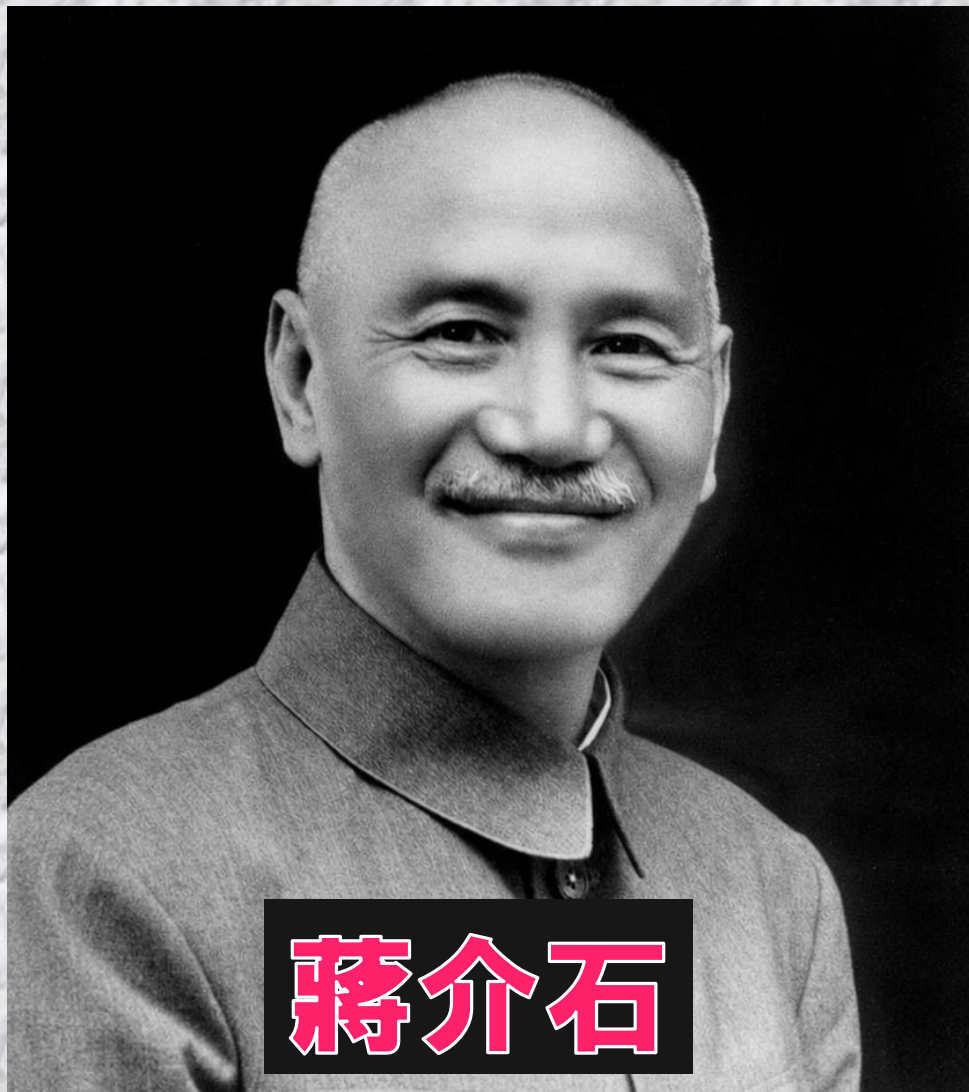
第 1 首相には，外相ウン＝フォト [フンシンベック党] が就任！





第3日目

中華人民共和国の歴史 & 台湾



蔣介石



毛沢東

《中華人民共和国建国宣言：1949.10.1》



日本敗戦後の国共内戦に勝利した毛沢東は、この日天安門の上で建国宣言の演説を行い、現在を社会主義の過渡期と位置づけ、“新民主主義”を発表している。
10月1日は“国慶節”とされ、中国本土の建国記念日となっている。

① 人民解放軍勝利と建国・発展

1946年：政治協商会議（in 重慶）……国民＋共産

but……第二次国共内戦へ突入（～ 49年）

49年：人民政治協商会議（in 北京）

⇒ 10/1：中華人民共和国成立……（党首）毛沢東 （首相） ①

50年： ② （～ 80） ×日本 in モスクワ

※中華人民共和国の承認

建国直後……ソ連，東欧諸国，インド

50年：イギリス，64年：フランス，72年：アメリカ

五ヶ年計画 { 53年：1次（合作社設立）
58年：2次（ ③ 設立，“ ④ ”をスローガンに！）

But！自然災害・ソ連の技術協定破棄（科学者引揚げ）で失敗！

② 走資（実権）派の劉・鄧路線

1959年：第2期全人代……（国主） ⑤，（副） ⑥

⇒ 資本主義的方法（生産請負制）を一部導入……しかし，様々な問題が出る

※チベット反乱（vs 中国人民解放軍）⇒ ダライ＝ラマ14世のインド亡命

⇒ 中印国境紛争 ⇒ 65年：チベット自治区



劉少奇



鄧小平

③ プロレタリア文化大革命(1966～77)：毛復活

- ① 7 の反旗 ② 毛沢東語録 (赤表紙)
- ③ 8 派 (走資派：劉&鄧) の失脚
- ④ 副主席 9 (国防長官) を後継者に (69年：九全大会)

1973年：人民日報“批林批孔の闘争”を提唱 by 10 (江青ら)

⇐ 9 の反毛クーデタは失敗！ (⇒ 鄧小平復活)

76年：第1次天安門事件 (“10” が学生弾圧, 黒幕として鄧小平は失脚)

⇒ 毛沢東の死 ⇒ 朱徳の死 ⇒ 11 が党主席・首相兼任！

⇒ 10 逮捕 ⇒ 鄧小平復帰 ⇒ 77年：11全大会 (革命終結宣言)

④ 周恩来の新外交 (反ソ, 親米日へ転換)

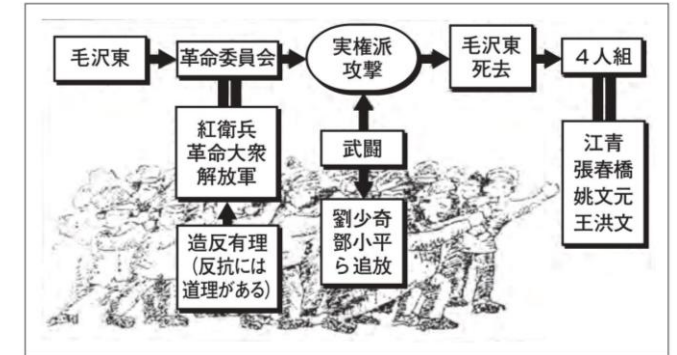
1959年：中印国境紛争 69年：中ソ国境紛争

71年：米大統領補佐官 12 との会見⇒中国の国連代表権交替

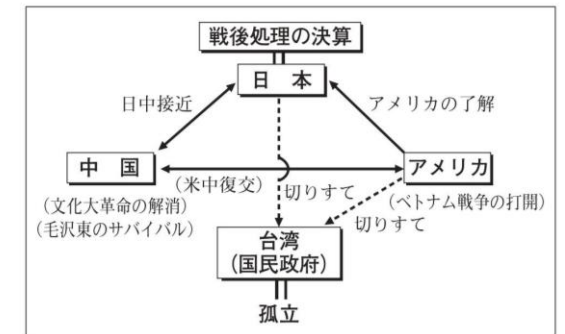
72年：米大統領 13 訪中, 日中共同声明 <+ 14>

└─▶ 米中国交正常化 (1979) └─▶ 日中国交正常化 (1972)

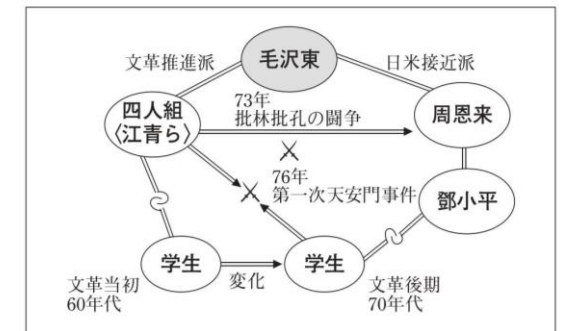
《文化大革命の背景と流れ》



《米中接近の構図》



《第一次天安門事件の背景：1976》





周恩来

毛沢東

林彪

影后

著名舞蹈家

江青



妻)江青

⑤ 鄧小平路線完成と現代中国とは

1978年：第5期全人大＝“⑮”（工業・農業・国防・科学技術）

78年～農業生産の請負制 → 85年：人民公社，完全解体

※地方）郷鎮企業 沿岸）経済特区（深圳^{シンセン}）体制）社会主義市場経済

現 中 国	（国家主席）李先念 — 88年 → 楊尚昆 — 93年 → <u>⑯</u>	
	（総書記）胡耀邦 — 87年 → 趙紫陽 → <table border="1"><tr><td>89年第2次 天安門事件</td></tr></table> → <u>⑯</u>	89年第2次 天安門事件
	89年第2次 天安門事件	
（国务院総理）趙紫陽 — 87年 → 李 鵬 → 李 鵬		

1992年：鄧小平による“南巡講話”……経済重視と強調

97年7/1：香港返還（⇐ ⑰）

99年12/20：マカオ返還（⇐ ⑱）

2008年：⑲，反中国運動……中心：ラサ

09年：⑳，反中国運動……中心：ウルムチ

※1990年代以降

江沢民 ⇨ 胡錦濤（2002～12）⇨ 習近平（2012～現在）

《第二次天安門事件：1989》







左から 江沢民・胡錦濤・習近平

⑤ 戦後の台湾史

1945年：日本の敗北……中華民国軍が上陸

1947年：_____②①_____事件……外省人 × 本省人

1949年：第2次国共内戦に敗れた中国国民党が拠点を置く

1952年：_____②②_____条約

1954年：第1次台湾海峡危機 *金門島への攻撃 *アメリカ第7艦隊

：米華相互防衛条約の締結（～1980年）

1971年：_____②③_____が台湾から本土へ

1975年：蔣介石の引退・死去 ⇨ 蔣経国（子）が総統となる（1978～）

1986年：民主進歩党の結成 1987年：戒厳令の解除

1988年：蔣経国の死 ⇨ _____②④_____（本省人）が総統となる

1996年：初の国政選挙（総統民選）によって, _____②④_____が当選

2000年：民主進歩党の_____②⑤_____が総統となる

2008年～馬英九（国民党）⇨ 2016年～蔡英文（民進党）⇨ 2024年～頼清徳（民進党）



第4日目

パレスティナ & 中東問題

（中東世界の今）



フセイン



ヘルツル

アラブ復古主義

&

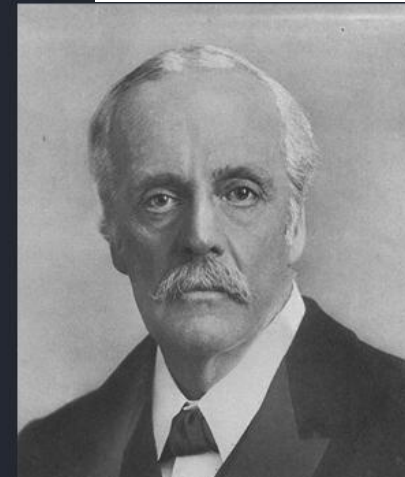
シオニズム運動



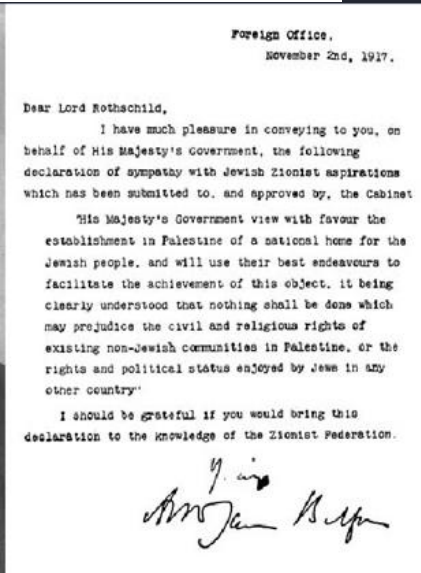
ロレンス

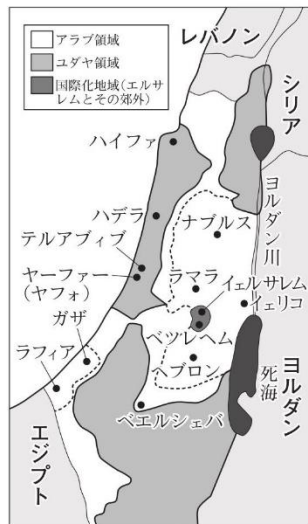


ファイサル



ヴァイツマン



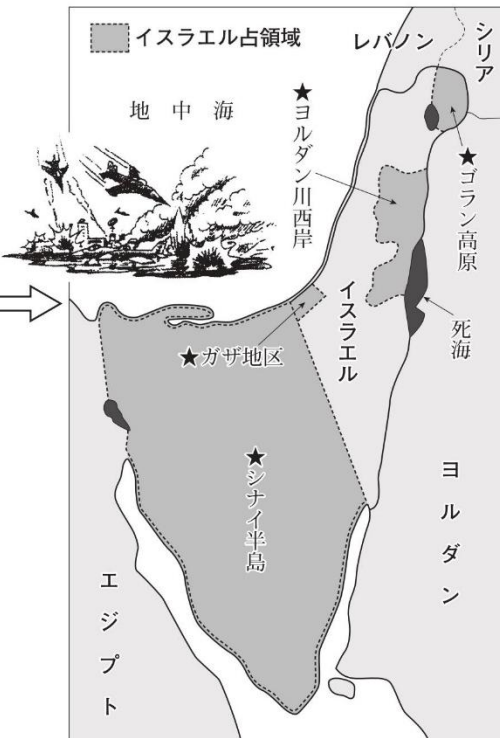
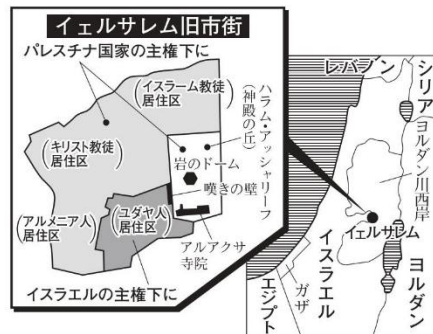


【イスラエル再建直前のパレスチナ】

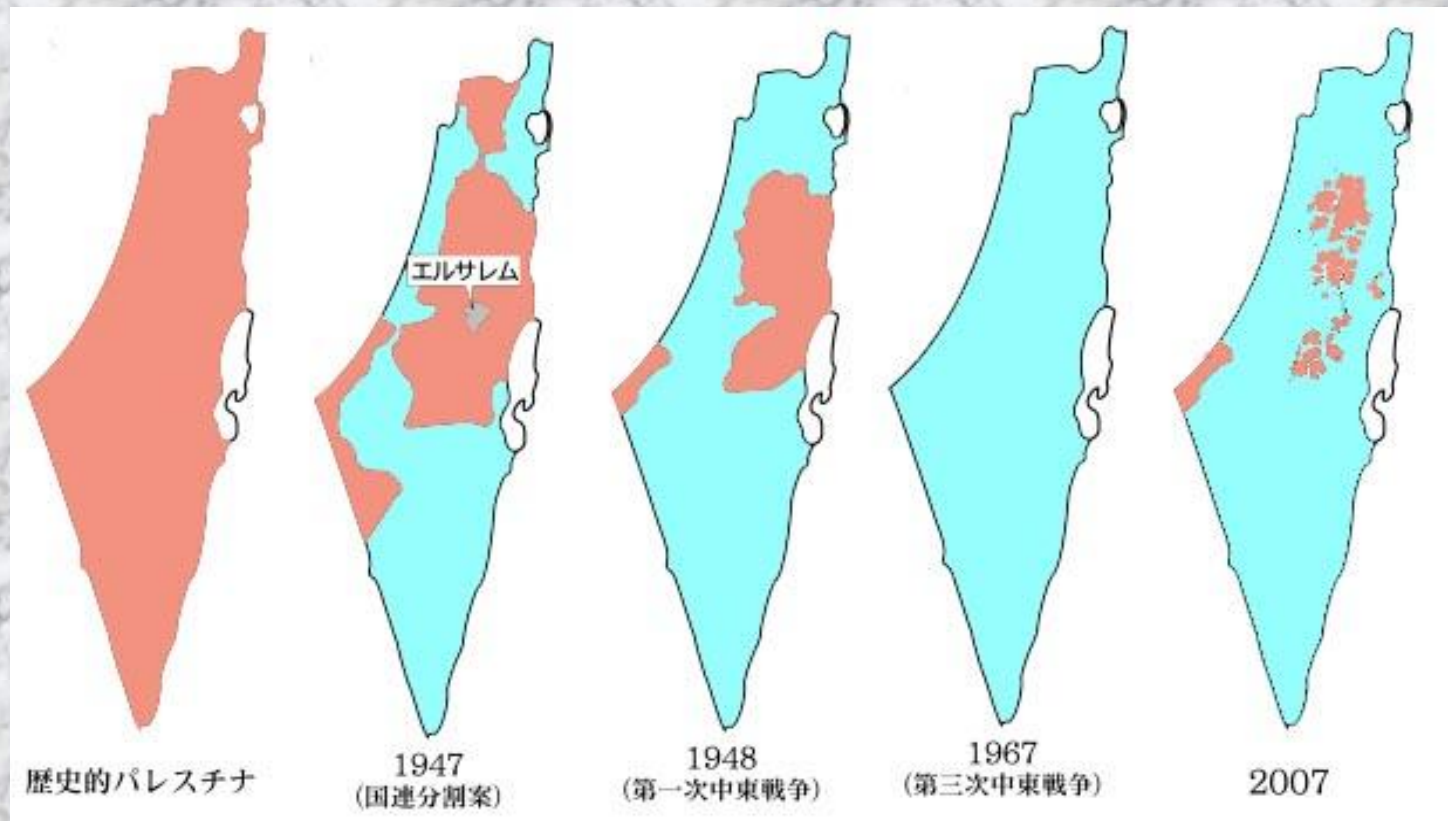


【第1次中東戦争後のイスラエル】

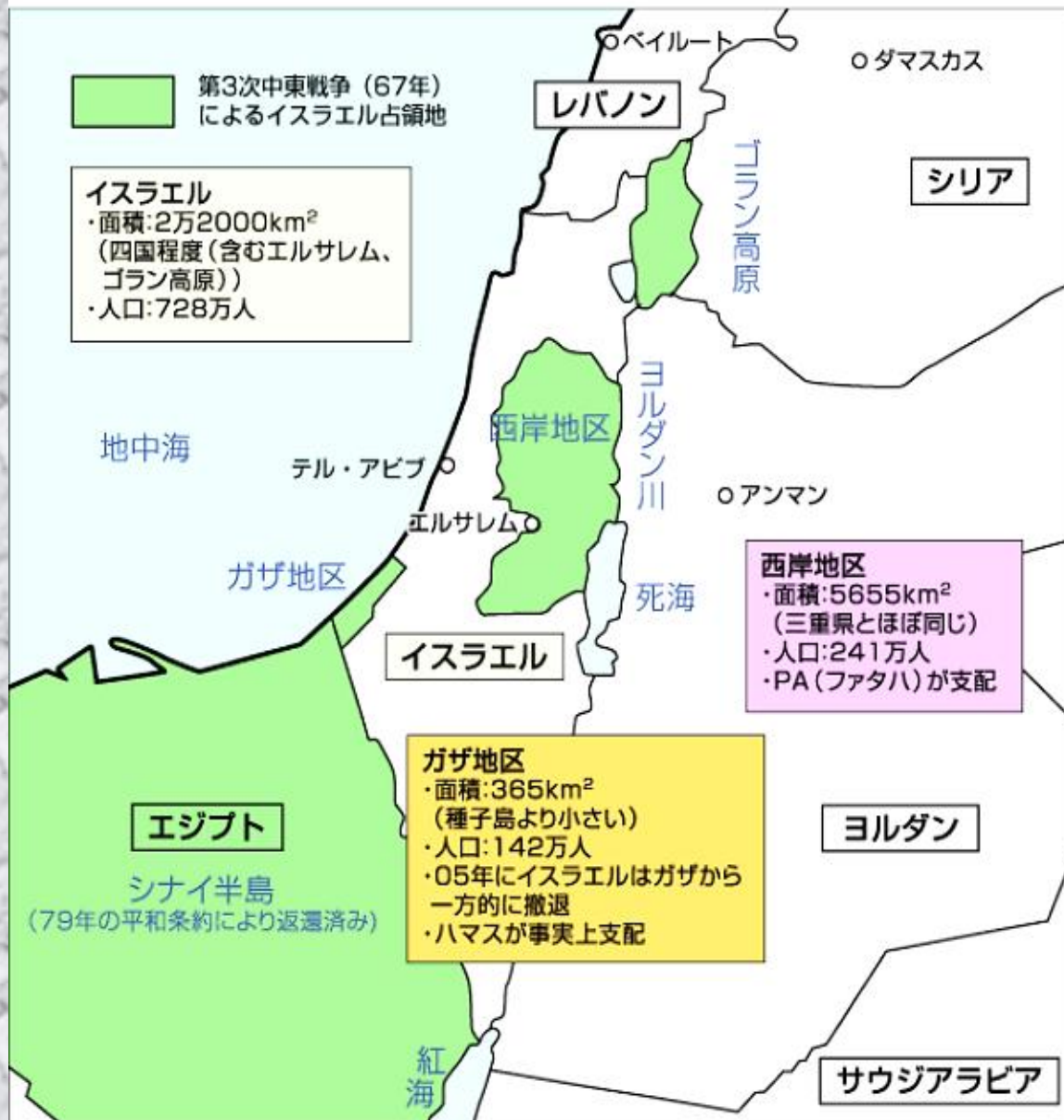
《3宗教の聖地イエルサレム》



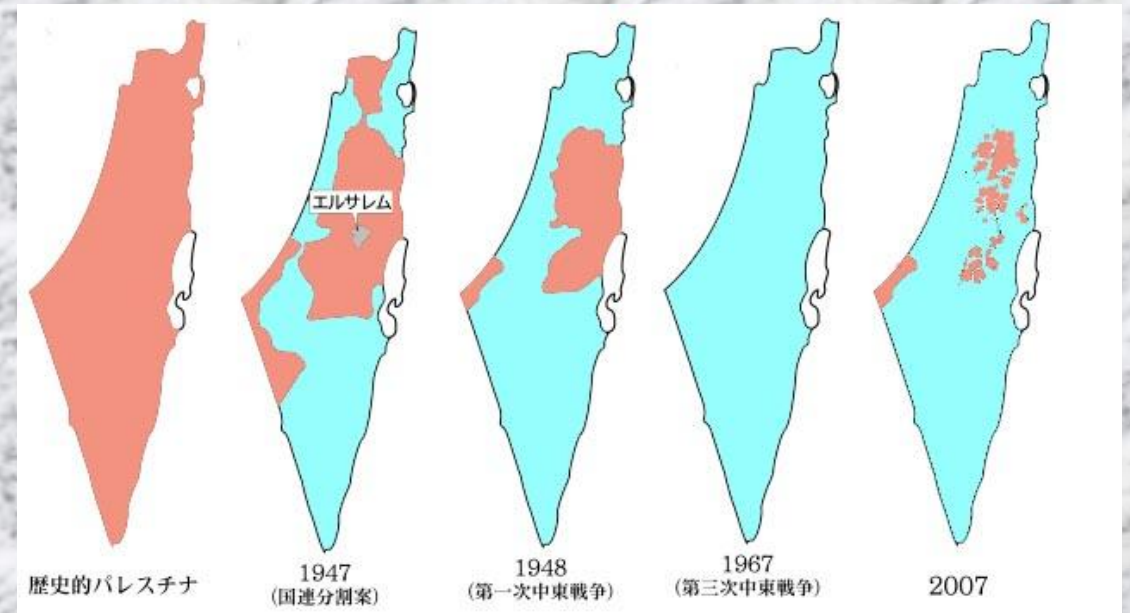
【第3次中東戦争図】



中東和平関連地図



第3次 中東戦争 (1967)





2つの中東和平会談〈キャンプデーヴィッド会談〉
(1978・1993)



パレスティナ国家の分断
(分離壁)

(7) 4つの中東戦争(ユダヤ人×アラブ人)

47年: パレスチナ分割案可決(×アラブ人) …… アメリカによる多数派工作

48年: 第1次中東戦争(パレスチナ戦争) ⇔ ① 建国

56年: 第2次中東戦争(スエズ動乱) ⇔ ② 宣言

64年: ③ 【PLO】成立

67年: 第3次中東戦争(六日間戦争)

⇒ 占領地拡大(④ ・ ⑤ ・ ⑥ ・ ⑦)

68年: ファタハの ⑧ がPLO議長就任(⇒ PLOの過激・ゲリラ化)

73年: 第4次中東戦争

⇒ ⑨ 【アラブ石油輸出国機構】による石油戦略でイスラエル軍撤兵

78年: キャンプ・デーヴィッド(中東和平)会談 in ワシントン

= (米) ⑩ 大統領・(エジ) ⑪ 大統領・(イス) ⑫ 首相

79年: エジプト=イスラエル平和条約 …… ⑬ 返還約束など

81年: ⑪ 大統領暗殺(エジプト)

82年: ⑬ 返還, イスラエルのレバノン(ベイルートのPLO本部) 侵攻

87年: 第1次 ⑭ 開始(民衆蜂起)

88年: パレスチナ国家独立宣言(〜国連承認)

91年: 中東和平会談 in ⑮

93年: 中東和平会談(⇔ “ ⑯ 合意” に基づいて) in ワシントン

(米) クリントン大統領・(イス) ⑰ 首相・(PLO) ⑧ 議長

⇒ ガザ地区・ヨルダン川西岸に暫定自治を付与

94年: ヨルダン・イスラエル和平協定

95年: イスラエルの ⑰ 首相暗殺!

2000年: 中東和平交渉決裂(この頃, イスラエル首相シャロンが「神殿の丘」を訪問する)

⇒ ✕ 第2次 ⑭ 開始(※第1次は87年)

01年: 米大統領: クリントン(民) ⇔ ブッシュ(共) } ✕ 9.11

イスラエル首相: バラク(労) ⇔ シャロン(リクード) } ⑱ テロ

04年: ⑧ の死去 ⇔ 和平交渉再開

05年: ガザ地区からイスラエル軍撤退



2010年以降の中東世界のパワーバランス

中東混乱の発端は1979年にある！

イラク	イラン	アフガニスタン
<u>19</u>	<u>20</u>	<u>21</u> による
大統領に就任	王政→共和政へ	軍事侵攻
1980～88年：	戦争	

1989年：ソ連軍、アフガニスタンから完全撤退

2001年：18 テロ事件

2003年：22 戦争

2011年：“23”（アラブにおける民主化運動）が起こる

2011年：24 の指導者ビン＝ラーディンが殺害される

2014年：イラク・シリアにおいて、25（テロ組織）が支配権を拡大

～近年～

- ①イスラエルとアラブ諸国の接近
- ②イランとサウジアラビアとの関係に変化
- ③イスラエルとイランの対立
- ④2023年10月7日におきたハマスのテロ事件
⇒ イスラエル・ガザ戦争
- ⑤イスラエル×ヒズボラー＆フーシ派
- ⑥シリア内戦の終焉（⇐ アサド大統領の亡命）



「“アラブの春(2011)” から考えること…」



残っている戦後史

- ①アジア各国の重要人物 * ナショナリストや開発独裁者
- ②アフリカの紛争と民族問題
- ③イギリス・ドイツ・フランスの戦後史
- ④ヨーロッパ統合の歴史 ★
- ⑤東欧諸国の動向（改革者と独裁者、バルカン半島の混乱）
- ⑥ソ連邦の歴史 * 社会主義陣営とソ連邦の崩壊
- ⑦アメリカ大統領の歴史 * 各大統領の内政と外交
- ⑧中南米の戦後史 * 社会主義政策 ✕ 軍事独裁 * ポピュリズム台頭
- ⑨環境問題 * 1972年・92年・97年・2015年